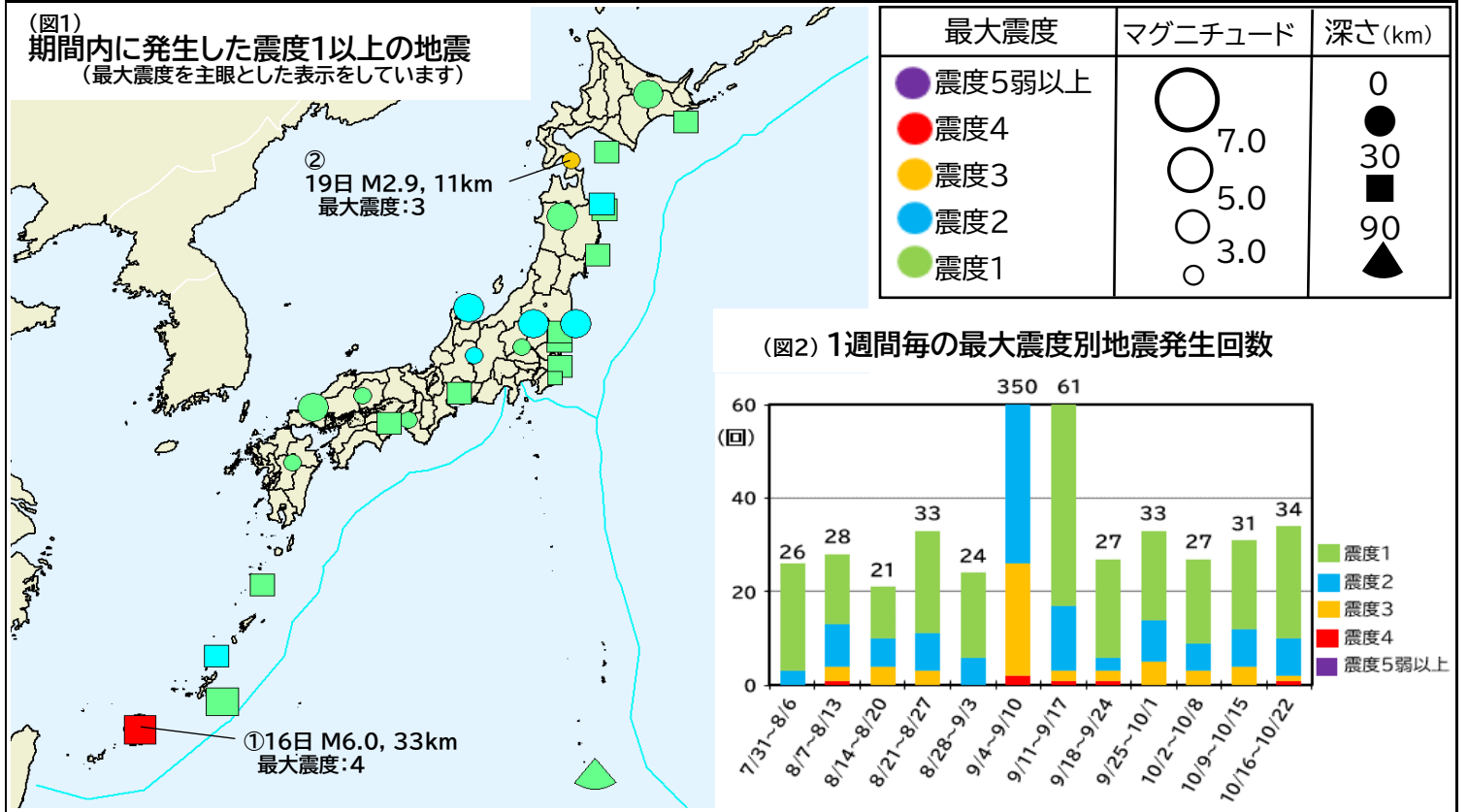


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が34回発生。最大震度は4。■
- ①10月16日19時42分に宮古島近海で発生した地震(M6.0、深さ33km)により、沖縄県宮古島市で震度4を観測したほか、沖縄本島から先島諸島にかけて震度3~1を観測(トピックス参照)。
- ②10月19日09時47分に津軽海峡で発生した地震(M2.9、深さ11km)により、北海道函館市で震度3を観測。

トピックス

■ 宮古島近海の地震活動 ■

- ・16日に宮古島近海で発生した地震は、陸のプレート内で発生した正断層型で、この付近で多く見られタイプの地震です。
- ・この地震の後、翌17日までに最大震度2が2回、震度1が3回発生しましたが、それ以降は震度1以上の地震は観測されていません。
- ・宮古島を含む南西諸島の南東側には琉球海溝が、北西側には沖縄トラフが並行する形で位置しており、琉球海溝ではフィリピン海プレートが南西諸島の下に沈み込んでいます。
- ・宮古島付近の1919年以降の地震活動を見ると琉球海溝および沖縄トラフ沿いも含めてM6.0を超える地震も数は少ないながらも時々発生しています(図3)。
- ・最近、この付近でM6を超える地震が発生したのは、2021年12月26日に発生した地震(M6.1、深さ39km)で、今回と同様に宮古島市で最大震度4を観測しています。
- ・一方、沖縄トラフ沿いでは1938(S13)年6月10日にM7.2の地震が発生し、宮古島で震度4(旧震度階級)を観測し、宮古島1.5m程度の津波を観測しています。

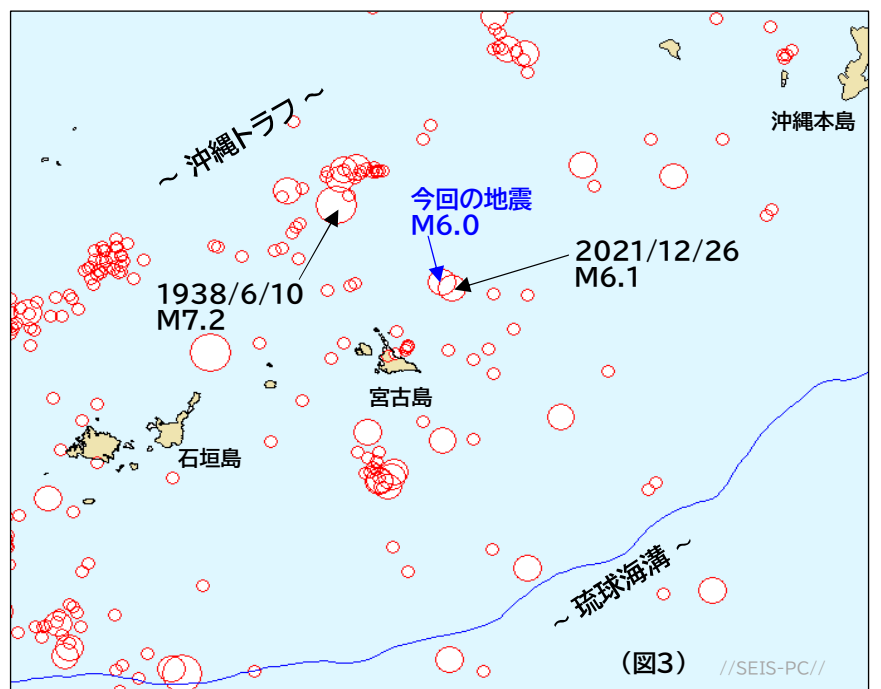


図3: 宮古島近海の地震発生状況
1919年1月1日~2023年10月21日(M≥5.0)
小さい○はM5、大きい○はM7、その中間の○はM6